

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック
山形中央ロータリークラブ 2025-2026

CLUB NEWS

Weekly Report Yamagata Central

2025
08

No.1400-1402回

毎週火曜日
12:30~13:30
(但し第5週は18:30~)

特集

- ◆ 委員会例会
- ◆ ビアパーティー
- ◆ ゲスト卓話 講師：佐藤 亮照(石行寺 住職)
- ◆ 会員情報／ニコニコBOX



山形中央ロータリークラブ
<https://ycrc.sakura.ne.jp>

第1400回 [2025.8.5 12:30 / ホテルメロポリタン山形]
◆ソング／国歌・四つのテスト ◆会員総数／35名 ◆出席会員数／23名
第1401回 [2025.8.19 12:30 / ホテルメロポリタン山形]
◆会員総数／35名 ◆出席会員数／25名
第1402回 [2025.8.26 12:30 / ホテルメロポリタン山形]
◆ソング／それこそロータリー ◆会員総数／35名 ◆出席会員数／26名

よいことの
ために
手を取りあおう

1グループ：小林、本間、安藤、玉ノ井 国際奉仕・友好クラブ活動計画予定(概要)



1. 台北永楽RC
 - ① 30周年式典参加(訪台):日時:2026年3月12日(木)場所:台北漢来ホテル
・訪問日程案:2025年11日(水)～14日(土)
 - ② 訪日対応:日時:11月11日(火)メトロ変更例会参加(人数:30名程度(ご夫婦参加))
2. 鹿児島城西RC
 - ① 40周年記念キャラバン(来県対応):日時:10月24日(金)～26日(日)
・歓迎例会:10月24日:メトロ変更例会参加
・その他:10月25日:ゴルフ(蔵王カントリー2組確保)
10月25日～26日:観光組接待予定(内容未定)

2グループ：奥山、斎藤、丹野、相川、鈴木



- ① 社会奉仕委員会:「デジタルで学ぶ!遊ぶ!つながるプログラミング体験会」を昨年に引き続き開催…
日時:9月13日(土)9:45集合
会場:児童福祉施設 山形学園(山形市蔵王上野924)

3グループ：石山、長谷川、江目、伊藤、青柳



- ① 先日のクラブフォーラム時に簡単なアンケートを実施していますが、欠席の会員には改めてご記入頂き幹事へ提出下さい。アンケート結果は後日報告します。
- ② 新入会員の推薦情報に感謝します。会員拡大について活動を実施しますので、ご協力をお願いします。
- ③ 「ロータリーの友」や「ガバナー月信」を是非お読みいただきたい。
- ④ 毎月1回ロータリー情報を提供します。

4グループ：明石、阿部、佐竹、小松、川合



- ① 会報は月報とし、表紙は季節感が出る会員の写真を中心にデザインする。
(7月会長、8月花笠、9月芋煮、10月月見、11月蕎麦、12月Xmas、1月年男・獅子舞、2月雪、3月ひな人形、4月花見、5月鯉のぼり、6月最終)
- ② プログラムは「誰かに話したくなるような面白い話が出る。」講師を探すこととして、それぞれ講師を探すことを決めました。(3人で割り振り)
- ③ ニコニコは用紙のフォーム変更の必要性を確認しましたが、今年度は変更せずテーブルごとに発表するスタイルで行くことを確認しました。

5グループ：小泉、長橋、長谷川、二瓶



- ① 親睦活動・家族委員会より8月19日例会は6時30開会6時40よりビアパーティー。
服装はカジュアル着、普段着。眠ってるお酒有れば当日お願いします。

【会長挨拶】 資産形成について

2023年65年ぶりの大幅な改正となり可決された生前贈与に関する税制改正について、贈与には「暦年贈与」と「相続時精算課税制度」の二つの方法があります。暦年贈与では、年間110万円までが非課税となりますが、今回の改正で、相続発生前の「持ち戻し」期間が3年から7年に延長されました。

一方、相続時精算課税制度では、2024年より新たに年間110万円の非課税枠が設けられ、この分には持ち戻しがありません。この制度全体の非課税枠2,500万円と合わせて活用することで、賢く贈与を行うことが可能になります。

例えば、父が暦年贈与、母が相続時精算課税制度をそれぞれ利用すれば、一人のお子さんに対して合計220万円まで非課税で贈与できるといったケースも考えられます。

これらの制度をうまく活用し、皆様の資産形成にお役立てください。





【会長挨拶】 今日という日に感謝！

このような素晴らしい日を皆様と共に迎えられることを、心から嬉しく思います。

本日は、長橋さんのご推薦でゲストとしてご参加いただいた米野さん、誠にありがとうございます。

7月に新事業年度が始まり、まだ1ヶ月ですが、これから鹿児島でのキャラバンや台北での30周年記念事業、山形学園の支援、最上川物語など、多くの活動が控えています。素晴らしい活動を共に行っていきましょう。

さて、この素晴らしいビアパーティーの開催にあたり、大変なご尽力をいただいたクラブ管理大委員長の長橋さん、そして親睦委員長の小泉さん、親睦委員の皆様、この場を借りて心より感謝申し上げます。皆様の多大なご協力のおかげで、今日という日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

本日は日頃の活動から離れ、皆様と一緒に楽しいひとときを過ごしたいと思います。大いに語り合い、親睦を深めてください。





プロフィール

- ・天台宗僧侶 石行寺(岩波観音) 佐藤亮照
- ・33年間サラリーマン生活 → 55歳で住職 → 退任後、各地で法話活動

2025.8.26(火)

ゲスト卓話「いのち、そして林住期から遊行期へ (人生の後半期に向かって)」

レジメ

(プロローグ … 忘己利他→自利利他／仏法は医者と患者の関係/2:6:2)

1. 「くも」と「ちょう」 (ブタがいた教室)

- ・いのちの重さ …… いのちを頂いている我々
- ・葬式より得るもの …… 感謝、限られたいのち(葬式の意義)
- ・「自分の死」を考えますか？
- ・「死は前方より来らず」
- ・メメント モリ …… 中世ルネサンス、イタリア知識人

2. 四住期

- ・今は幸せですか？ … 余命は何年？ これからの生き方
- ・学生期、家住期、林住期、遊行期 … 青春、朱夏、白秋、玄冬
- ・仏道との出会い(家住期) … もっと早くに巡り合っていたら！
- ・林住期の生きかた …
現役を去る寂しさ(改めて、生きる目的とは？)、居場所づくり
これまでは犠牲？ 付度 今こそやりたかった事を！ 黄金期！

3. 遊行期

- ・遊びに行く、子供に「還る」
- ・登山と下山、登校と下校、出発と帰途 … 「生と死」「輪廻転生」
- ・「各人の信ずる道を深め、人々に(想いを)手渡す」

4. 受 容

- ・明らめる→諦める、真理(普遍的な事実)の受容→悟る(迷いが無くなる)
- ・母親と赤子の話し … 皆で渡れば怖くない？ 「誰もが通る道」
- ・三法印 … 諸行無常、諸法無我、一切皆苦(生老病死)

道 心



～お寺の役目～
「お寺は生きている人々のためにあるんだよ」

山形の寺を訪ねてその十八
最上三十三観音霊場 第七番岩波観音
新福山般若院 石行寺

みなさん、こんにちは。
天台宗の僧侶、佐藤 亮照(さとう・りょうしょう)と申します。

私は33年間サラリーマンを勤め、その後55歳で住職となり、昨年退任いたしました。今日はその経験を踏まえ、「人生の中期計画・長期計画」というテーマでお話をさせていただきます。

1. 仏法と悩み

仏法は「医者と患者の関係」に例えられます。

悩みのない人はお寺に来ません。けれども人間は必ず悩みます。病気になります。死にます。そのときに仏法の言葉が心に届くのです。

2. 命を考えるきっかけ

世の中には「2:6:2の法則」があります。働きアリも、人間の集団も、熱心な人・普通の人・否定的な人に分かれます。今日の話も同じです。「なるほど」と思う人もいれば「くだらない」と感じる人もいます。

幼稚園で聞いた「クモとチョウの話」。

チョウを助ければクモは飢える。命の価値は一方的に決められません。

また、「豚がいた教室」では、育てた豚を食べるかどうかが、子どもたちが命と向き合いました。私たちも日々「命をいただいている」のです。

3. 死を意識すること

吉田兼好は「死は前方より来たらず」と書きました。死は突然訪れるものです。

「メメント・モリ」——死を思え。ルネサンスの時代から人々が胸に刻んだ言葉です。

会社経営と同じように、人生にも「中期計画・長期計画」が必要です。

4. 人生の四季

人生を四つに分けて考えてみます。

- ・ 学生期(学生時代)
- ・ 家庭・仕事期(働き盛り)
- ・ 家住期(退職後、自分の時間)
- ・ 林住期(人生のまとめ)

退職後は特に男性が弱くなりがちです。仕事を離れると「居場所を失う」からです。女性は仲間とお茶をしながら支え合えますが、男性は孤立しやすい。幸せとは「心配事が少ないこと」。心配事のない日常こそが幸せなのです。

5. 仏法の智慧

十三宗派のうち十一宗派で読まれる般若心経は「空」を説きます。

老いること、病気になること、死ぬことは避けられません。それを「諦める」——つまり「明らかに見る」ことが仏法の智慧です。

6. 結び

お葬式や法事をご先祖に感謝する場であると同時に、生きている人のための場でもあります。寺は「亡き人のため」だけでなく「生きる人のため」にあるのです。

今日のお話を通じて、皆さんが人生の出口を意識しながら「今をどう生きるか」を考えていただければ幸いです。

ご清聴、ありがとうございました。

【会長挨拶】「ハコモノ」から「ヒトモノ」へ

企業にとっての福利厚生は、社員寮や保養所といった「ハコモノ」から、**社員の多様な価値観に対応する「ヒトモノ」**へと変化しています。

これは、働き方や労働生産性の向上、そして従業員の幸福(ウェルビーイング)を企業が後押しする流れによるものです。特に採用や人材定着の競争が激しい中小企業にとって、魅力的な福利厚生は不可欠となっています。

従業員が現在期待する福利厚生の上位にくるのは、「休暇」や「フレックスタイム」など、ワークライフバランスや働き方に関するものです。さらに、健康や医療サービス、メンタルヘルスケアなど、従業員のストレスや不安を軽減するサービスへのニーズも高まっています。これらは、従業員の満足度向上だけでなく、生産性の向上にも繋がると期待されています。

また、「人生100年時代」や「老後2000万円問題」といった将来への不安を抱える従業員のために、**財産形成を支援する福利厚生**も重要です。ライフステージに応じた資産形成プランを提供することは、従業員のエンゲージメントと満足度を高めることに繋がります。

現代の福利厚生は、単なる待遇ではなく、**従業員の人生に寄り添い、共に未来を築くための重要な投資**であると言えるでしょう。

業独自の福利厚生といえば、社員寮や保養施設など、いわゆる「ハコモノ」をイメージしているかもしれませんが、しかし、福利厚生のあり方は時代と共に変化しています。

従業員の価値観の多様化に伴い、ワークバランスや労働生産性の向上、ウェルビーイングを企業が後押しするような「ヒトモノ」の福利厚生が注文されています。

中小企業においては採用、人材の確保の競争が厳しさを増すなか、安定、定着の為魅力的な福利厚生を準備する事が必要になって来ました。「ハコモノ」に魅力を感じない時代となりました。

従業員が期待する福利厚生は「休暇」や「フレックスタイム」など、ワークバランスや働き方の福利厚生が上位に有るようになりました。又、健康や医療などのサービス、メンタル面で従業員のストレスや不安を減らす事で、従業員の満足度や生産性の向上に期待が出来ます。

さらに財産形成に関する福利厚生です。

人生100年問題や老後2000万円問題など、将来の資金計画に不安を抱えている従業員も少なくありません。

ライフステージに応じた資産形成プランを提供したり、支援する事でエンゲージメントの向上や満足度に繋がる様です。



企業創立記念日&お誕生日



企業創立記念日

(株)丹野 ソニー生命保険(株)
丹野秀樹さん 本間雅之さん
(株)サム・コミュニケーションズ
相川博昭さん



お誕生日

佐藤吉信さん、佐竹純一さん、小松茂洋さん

おめでとうございます!

今月のお食事



第1400回 (2025.8.5)



第1402回 (2025.8.26)

【今月の人】

Q

- 1 座右の銘
- 2 好きな食べ物
- 3 嫌いな食べ物
- 4 最近嬉しかったこと
- 5 RCに入会して「よかったー」
- 6 あなたにとっての例会とは?
- 7 当クラブの良いところ
- 8 RCを漢字一文字で表すと?

Q

A

A 小林敏郎

1 継続は力なり

- 日々の積み重ねが、やがて揺るぎない力となると信じています。小さな努力を怠らず、今日も一歩を踏み出します。
- 2 妻の手料理。どんなごちそうより、心がほっとする味です。
- 3 牛乳。子どもの頃から苦手で、今でもなかなか克服できません。
- 4 息子夫婦が久しぶりに山形に遊びに来てくれました。
- 5 家族で囲む食卓の時間は、何にも代えがたい喜びです。
- 6 年齢や職業に関係なく、心から語り合える仲間ができたこと。
- 7 人生の節々での支えとなる大切なつながりです。
- 8 美味しいお昼と有益なお話が聞ける、心の栄養補給の時間です。
- 9 毎回、新しい学びと気づきを得ています。
- 10 和気あいあいとしていて、誰もが自然体でいられるところ。
- 11 笑顔が絶えず、あたかも雲間が魅力です。
- 12 「縁(えん)」人との出会い、経験との出会い、そして心との出会い。
- 13 ローターは、人生を豊かにする「縁」に満ちています。

A 小泉俊哉

- 1 為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり
- 2 米沢生まれだから身近に感じたのかな?
- 3 ソフトクリーム
- 4 漬物(たくあん)
- 5 先日突然顔半分が麻痺して脳梗塞かなと検査したらウィルス、ストレスの原因みたいでとりあえず安心
- 6 中々お会いできない人とお話しやお酒飲める時間が得られた
- 7 最低限の務め
- 8 5と少し被りますが気軽に馬鹿言える
- 9 「結」



2025.8.5

明石晶樹／明日花笠パレード参加します。雨ですが、応援宜しくお願いします。

本間雅之／各委員会での活発な意見がクラブの活性化につながります。ありがとうございます。

2025.8.26

本間雅之・鈴木陽子／佐藤様 本日は山形中央RC例会にて卓話をありがとうございます。"必ず入口と出口がある"今日からどう生きるかを教える機会を頂きました。

阿部美春／今日のお話を聞き、限られた時間の

中で自分の命をどのような価値観と信念で過ごしてゆくか真摯に林住期と向き合っていきたいと思っています。

明石晶樹・齋藤眞・石山徳昭・奥山宏／石行寺 佐藤様 本日は大変貴重な話ありがとうございます。多くのヒントを得た卓話でした。死を意識しながら1日を楽しく精一杯がんばります。

佐藤登美子・相川博昭／石行寺 佐藤様 卓話ありがとうございました。

編集後記

今月は石行寺の佐藤亮照氏より卓話をいただきました。レジメの最初に「忘己利他→自利利他」の言葉がありました。天台宗の開祖、最澄は「忘己利他」を重視し、真言宗の開祖、空海は「自利利他」に意識を向けました。どちらも「利他」を探究しております。ロータリークラブを二本の手に例えるならば、例会や奉仕活動を通して自利の手を磨き、利他の手に相手を思う心を

せて活動していると思います。卓話では「死」を意識することで「生(今)」を大切に生きることを話されました。つまり、死は避けることが出来ないからこそ、自利と利他の二本の手を、今どう使って大切に生きるか問いかけているのだと思います。